

○消防吏員A・B II 教養試験問題例

[No. 1] A～Dの4人はそれぞれ、文学部・法学部・工学部・医学部のいずれか異なる学部 to 所属しており、北海道・東京・大阪・沖縄の異なる地域の出身である。この4人が待ち合わせに到着した順番について次のことが分かっている。

- ・ Aの次に文学部の人、その次に東京出身者が着いた。
- ・ 大阪出身者の次にBが、その次に工学部の人、その次に法学部の人、その次に北海道出身者が着いた。
- ・ 法学部の人、その次に北海道出身者が着いた。

このとき、確実にいえることとして、最も適切なものはどれか。

1. Aは法学部の人である。
2. Cは東京出身者である。
3. 医学部の人、その次に北海道出身者が着いた。
4. Dは工学部の人である。
5. 文学部の人、その次に北海道出身者が着いた。

[No. 2] 物質の性質に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. エタノールは、酵母によるグルコースなどのアルコール発酵によって生じる無色の液体で、水と任意の割合で混じり合う。
2. ヨウ素は、常温で昇華性を持つ黒紫色の液体で、ハロゲン分子の中で最も酸化力が強い。
3. 水酸化カルシウムは、生石灰とも呼ばれる白色の固体で、水を加えると発熱しながら酸化カルシウムになる。
4. ニトロベンゼンは、ベンゼンに混酸を作用させると生じる淡黄色の固体で、水に溶けやすい。
5. アセチルサリチル酸は、湿布薬としても用いられる無色の結晶で、フェノール性のヒドロキシ基をもつので塩化鉄(III)水溶液で呈色する。

[No. 3] 企業の活動に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 日本の会社企業の形態に含まれるのは、株式会社、有限会社、合資会社、合名会社、合同会社であり、法律上いずれも新設することができる。
2. 2006年に施行された会社法では、企業制度や運営などを定めており、株式会社の設立に関して資本金の最低金額が規定されている。
3. 株式会社の特徴として、経営の自律性を保つための所有と経営の分離があり、業務に関する意思決定は監査役がすべて行うことになっている。
4. 株式会社では株主にとって不利益が生じないために、コーポレート・ガバナンスの実現に向けた取組として、ディスクロージャーが促進されている。
5. 企業の社会的責任が世界的に重視されるようになり、ボランティアや福祉に関わる慈善活動であるメセナが行われている。